

## I 団体の概要

令和7年7月1日現在

団体名	公益財団法人姫路市中小企業共済センター					
団体所管課	観光経済局 商工労働部 労働政策課					
設立	昭和49年(1974年) 10月25日					
資本金	100,000千円	市出資金	100,000千円	100%		
設立目的						
退職金共済事業をはじめとして中小企業勤労者等に対する総合的な福祉事業を行うことにより、中小企業勤労者等の福祉の向上を図るとともに、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与することを目的とする。						
寄附行為(定款)に掲げる事業						
1 所得税法施行令第73条第1項に基づく特定退職金共済団体として行う退職金共済事業 2 中小企業勤労者等の生活安定に係る事業 3 中小企業勤労者等の健康の維持増進に係る事業 4 中小企業勤労者等の自己啓発・余暇活動に係る事業 5 中小企業勤労者等の財産形成に係る事業 6 中小企業勤労者等の老後生活の安定に係る事業 7 その他目的を達成するために必要な事業						
主 な 事 業	事業名	R8年度事業費 (予算額)	事業概要			
	福利厚生事業	178,436千円	公益目的事業として健康管理事業・余暇活動・余暇施設等の事業を実施する。			
	退職金共済事業	909,255千円	公益目的事業として勤労者の退職金共済事業を行う。			
	慶弔給付金事業	167,027千円	収益事業等(相互扶助等を行うその他の事業)として慶弔給付金事業を行う。			
	特別弔慰金等給付共済事業	14,709千円	収益事業等(相互扶助等を行うその他の事業)として特別弔慰金等給付共済事業を行う。			
役 職 員 数 (注1)		常勤(注2) (うち市派遣)	非常勤	一般職 (うち市派遣)	嘱託・ 臨時等	
	役員数	3人(人)	15人	職員数	4人(0人)	6人
	役員平均年齢(常勤)	63.9歳	役員平均年収(常勤)	3,748千円		
	職員平均年齢(一般職)	47.1歳	職員平均年収(一般職)	5,812千円		
年度		R5	R6	R7(決算見込み)		
市 か ら の 財 政 支 出 等	委託料					
	補助金	63,539千円	71,984千円	69,660千円		
	貸付金 (年度末残高) 損失補償の対象 となる借入金					
財 務 概 況	当期収入	1,211,837千円	1,275,816千円	1,220,628千円		
	当期支出	1,214,518千円	1,283,105千円	1,218,091千円		
	当期収支差額	-2,681千円	-7,289千円	2,537千円		
	次期繰越収支差額	39,837千円	32,548千円	35,085千円		
	総資産	4,969,518千円	5,010,551千円	5,051,504千円		
	総負債	4,710,307千円	4,771,166千円	4,809,582千円		
	当期正味財産増減額	-7,326千円	-19,826千円	2,537千円		
正味財産	259,211千円	239,384千円	241,922千円			
ホームページアドレス	<a href="https://www.himeji-kyosai.or.jp">https://www.himeji-kyosai.or.jp</a>					

注1: 役員平均年齢、役員平均年収、職員平均年齢、職員平均年収には、市からの派遣職員は含まない。

注2: 常勤役員には、週29時間以上勤務する常勤的な非常勤役員を含む。

## II 基本方針

### 1. 団体の前計画期間（令和3年度～令和7年度）における主な取組実績

・従来からの福利厚生事業に加え令和3年度から民間の福利厚生サービスと提携し、全国型福利厚生サービスを提供し、福利厚生事業の選択肢の拡大を図った。  
・会員のチケット料金等の支払方法について、従来からの銀行振込に加え電子決済及びコンビニ決済を追加し、会員がサービスを利用しやすくなるよう利便性の拡大に努めた。  
・センターの安定的な運営のため、職員1名の定年退職に伴い新たに1名の職員を新規採用した。

### 2. 団体を取り巻く環境・経営上の課題

・近年、加入事業所の廃業や親会社、系列会社との合併などによる脱退が増加し、加入会員数が減少傾向にあるため、今後においても当センターを知っていただくこと、また加入していただけるよう加入促進員による勧誘訪問活動を強化したい。  
・職員1名が定年退職を迎えるので、センターの安定的な運営のため職員を新規採用したい。

### 3. 団体の将来像（ビジョン）

姫路市内の事業所の大多数は中小企業であり、産業及び経済的にも重要な役割を担っている。しかし、中小企業を取り巻く環境は厳しく、大企業と比べて景気や雇用条件等様々な観点から格差が生じているのが現状である。

当センターは、中小企業の人材確保及び定着のため、より一層の中小企業の相互扶助による福利厚生制度の充実に取り組み、会員の福祉の向上と生活安定を図るとともに、中小企業や地域経済の振興及び地域社会の活性化を促進する役割を果たしたい。

### 4. 団体の改革の方向性

今後とも職員の機動性やIT化を進め、福利厚生事業の充実や契約施設の拡大に努め、会員サービスの向上を図り、より多くの会員や企業が加入していただけるよう取り組みたい。

## Ⅲ 健全経営に関する計画

計画期間：令和8年度～令和12年度

## 1. 経営目標

目標	加入会員数の拡大 福利厚生事業の充実
目標達成に向けた取組み	加入促進員による未加入事業所への訪問勧誘活動の強化

## 2. 数値目標・指標

健全経営に関する数値目標	令和6年度実績値	目標値（令和12年度）
加入会員数	38,445人	39,000人
加入事業所数	1,710事業所	1,750事業所

## 経営目標達成に向けた取組みの進捗状況やその成果を測るための指標

加入会員数の年間100人の増加
加入事業所数の年間10事業所の増加

## 3. 事業運営の最適化

事業の最適化及び事業実施方法の適正化	
福利厚生事業	実施事業のスクラップ&ビルド、IT化により利便性、サービスの向上を図る。
退職金共済事業	責任準備金100%を維持し、運用委託先生保の安全性、健全性を確認する。
慶弔給付金事業	相互扶助の理念による給付を円滑に進めるため、給付財源を確保する。
特別弔慰金等給付共済事業	加入者の生活安定のため、委託先機関と連携し着実に運営する。

利用者満足度の把握・改善	事業参加者からの意見などを把握し、事業の改善に努める。
--------------	-----------------------------

## 4. 団体運営体制の改善

## (1) 執行体制

役員体制	定款に定める役員数、評議員数で運営する。
職員体制	センターの安定的な運営のため、職員を計画的に採用する。
リスク管理の強化	退職金共済事業の引当資産を確保するため、運用委託先生保の安全性、健全性を把握する。

## (2) 人事・給与

「外郭団体の職員の給与及びその他の勤務条件に関する指導基準」への適合	既に指導基準に適合している。
人材育成及び士気の高揚	加盟している全国中小企業勤労者福祉サービスセンターが行う研修等や、令和7年度から参加できるようになった市の研修を活用し能力向上に努める。

## (3) 財務管理

収入確保の取組み	加入会員数の拡大、経費削減に努める。
基本財産等の運用	国債、定期預金により保管する。

## 5. 財務状況の見通し（試算）

年度		R8	R9	R10	R11	R12	
財	福利厚生事業	当期収入	178,191千円	178,350千円	178,509千円	178,668千円	178,827千円
		当期支出	178,191千円	178,350千円	178,509千円	178,668千円	178,827千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円
	退職金共済事業	当期収入	917,560千円	952,160千円	986,760千円	1,021,360千円	1,055,960千円
		当期支出	917,560千円	952,160千円	986,760千円	1,021,360千円	1,055,960千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
	慶弔給付金事業	当期収入	166,915千円	167,056千円	167,197千円	167,338千円	167,479千円
		当期支出	166,915千円	167,056千円	167,197千円	167,338千円	167,479千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
特別弔慰金事業	当期収入	14,672千円	14,684千円	14,696千円	14,708千円	14,720千円	
	当期支出	14,672千円	14,684千円	14,696千円	14,708千円	14,720千円	
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	次期繰越収支差額	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
概	人会計	当期収入	10,938千円	10,948千円	10,958千円	10,968千円	10,978千円
		当期支出	10,938千円	10,948千円	10,958千円	10,968千円	10,978千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円
況	合計	当期収入	1,288,276千円	1,323,198千円	1,358,120千円	1,393,042千円	1,427,964千円
		当期支出	1,288,276千円	1,323,198千円	1,358,120千円	1,393,042千円	1,427,964千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	35,085千円	35,085千円	35,085千円	35,085千円	35,085千円
	総資産	5,081,910千円	5,112,316千円	5,142,722千円	5,173,128千円	5,203,534千円	
	総負債	4,839,582千円	4,869,582千円	4,899,582千円	4,929,582千円	4,959,582千円	
	当期正味財産増減額	406千円	406千円	406千円	406千円	406千円	
	正味財産	242,328千円	242,734千円	243,140千円	243,546千円	243,952千円	